

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人凌雲会	代表者	稲次 正敬	法人・事業所の特徴	藍住町に法人母体がある。基本理念は「利用者が受けてよかったと思える医療介護サービスの提供」「地域社会での生活を積極的に支援できる組織」とし、基本方針、キーワードとして「地域」「リハビリ」「連携」「在宅」をあげている。当事業所もこれらの基本理念のもと住み慣れた地域での生活を支援している。
事業所名	小規模多機能ホーム 万代の家	管理者	高井 徹		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	人	2人	0人	2人	人	3人	1人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			スタッフ各人が認定期間の自己評価と次回の達成目標を文字にして記録する。いわゆる「見える化」することで、全体の状況がよく分かります。	グループの理念に基づき、毎月の目標に対し、各自が目標を遂行していく
B. 事業所のしつらえ・環境			居室・ホール廻りが視覚的に閉鎖的に感じる 他事業所と比較してもどことも入りやすい雰囲気である。万代町は新しく清潔感もあり、入りやすい玄関であると思う	清潔感を保ち、地域の方々にいつでも利用しやすい開放的なしつらえ、環境をつくる
C. 事業所と地域のかかわり			町内会に係わってみたらどうでしょうか	PRを含め地域住民に声かけし、イベントを通じて人が集まってこられるよう工夫していく。健康教室など開催し、地域の方々の健康づくりを支援していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			地域との密接な係わりの中で、支援の必要な高齢者が放置されたままにならないよう期待しています。	地域の行事・イベントに積極的に参加していく。県営住宅の独居高齢者など安否確認、声かけを行い相談しやすい関係作りをつくる
E. 運営推進会議を活かした取組み			会議とは別に民生委員・婦人会・老人会・町内会の役員などを招待して施設の見学会などを計画して地域とのコミュニケーションを図ってはどうか	民生委員さんの出席率が低い地元住民の参加を促す 利用者家族を通じて、運営推進会議について説明、情報提供を検討していく

F. 事業所の 防災・災害対策			防災計画に基づく訓練の確認	防災訓練は地域住民の方々と共同して実施する。 県営住宅の訓練にも参加を検討する。
--------------------	--	--	---------------	---

